

高齢者ケアにおける意思決定を支える文化の創成

解決したい課題・研究開発目標

解決したい課題

■ 高齢者が住み慣れた地域で、最期まで自分らしく生きることを妨げている問題

- ① 本人・家族の意思決定プロセスを支援する態勢の不備、
- ② 最期の生のよいあり方や医療の役割についての地域住民の理解、
- ③ 家族の介護負担軽減のための社会的ケア導入に否定的な意識

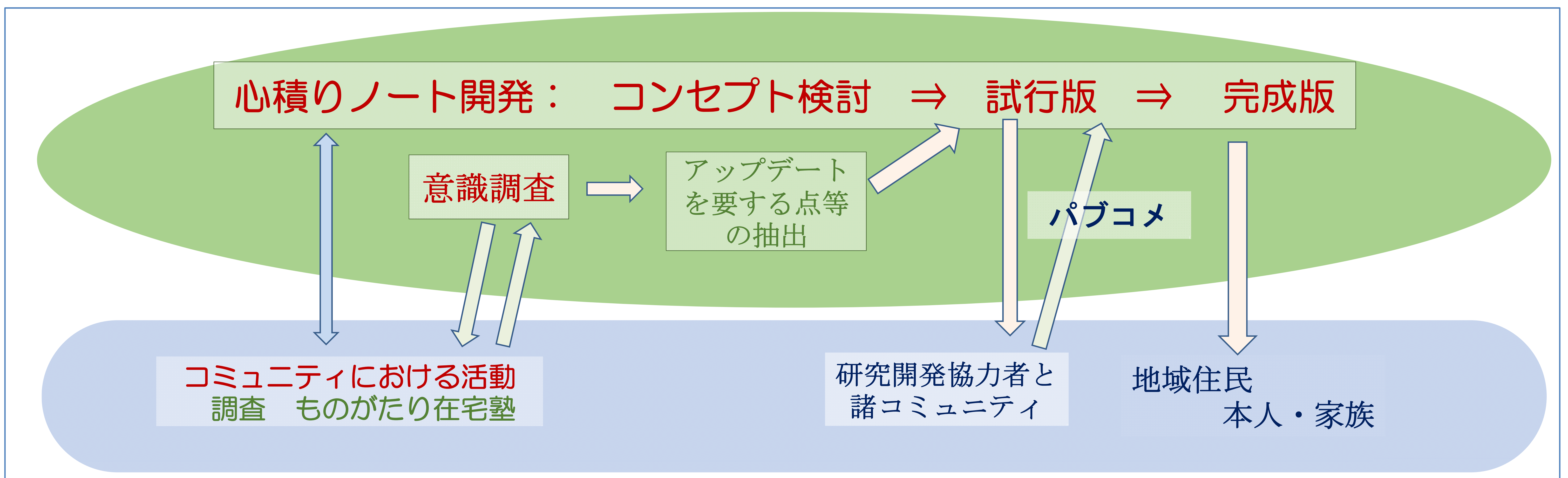
目指す社会像・研究開発目標

■ 高齢者ケアを取り巻く上記3つの側面を改善し、高齢者のよい人生を促進する社会的環境づくりのために...

- ① 左記問題点を確認するためのコミュニティ住民の意識調査
- ② 意識調査に基づく、意識アップデートのポイント抽出と対応策
- ③ 本人・家族の意思決定プロセスを支援するツール(心積りノート)開発

プロジェクトの実施方法

全体計画・プロジェクトの展開方法



対象コミュニティ

ナラティブホームとその活動地域 (富山県砺波市)

(2014年9月28日開催 臨床倫理セミナー in となみ)



研究開発体制

- * 東京大学
- * ナラティブホーム
- * 庄東地区社協
- ・老人看護CNS
- ・国立長寿医療研究センター

シンポジウム

エンド・オブ・ライフ
人生の最終段階のケア
支える文化の創成に向けて

日時/2014年2月9日(日) 午後1時~5時
会場/東京大学本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール (赤門近く)

講演1 秋山 弘子 (東京大学高齢社会総合研究機構特別准教授)
「長寿社会に生きる」

講演2 太田 考樹 (国立長寿医療研究センター 地域包括ケア推進部長)
「地域包括ケアと地域居住の継続 (Aging in Place)」

シンポジウム
「本人・家族の選択を支える：人生を豊かにする意思決定プロセスの展開」

司会 二井谷 友公 (ナラティブホーム 代表理事)

高橋 香織 (国立長寿医療研究センター 看護部長 / 老人看護専門看護師)
清水 哲郎 (東京大学大学院 医学部 看護学専攻 准教授)
高橋 浩 (国立長寿医療研究センター 地域包括ケア推進部長)

幹事 会田 薫子 (東京大学大学院 医学部 看護学専攻 准教授)

主催：RISTEX 研究開発プロジェクト「高齢者ケアにおける意思決定を支える文化の創成」
後援：東京大学大学院 医学部 看護学専攻 / RISTEX 2014 / 医学部倫理委員会 / 国立長寿医療研究センター / 富山県

入場無料
要予約

【予約・お問い合わせ先】「人生の最終段階のケア」事務局 (有)プラセル内
TEL: 0120-971-145 e-mail: shiseigaku@placer.jp

お申し込みの際は
裏面をごらんください

プロジェクトの成果と今後の展望

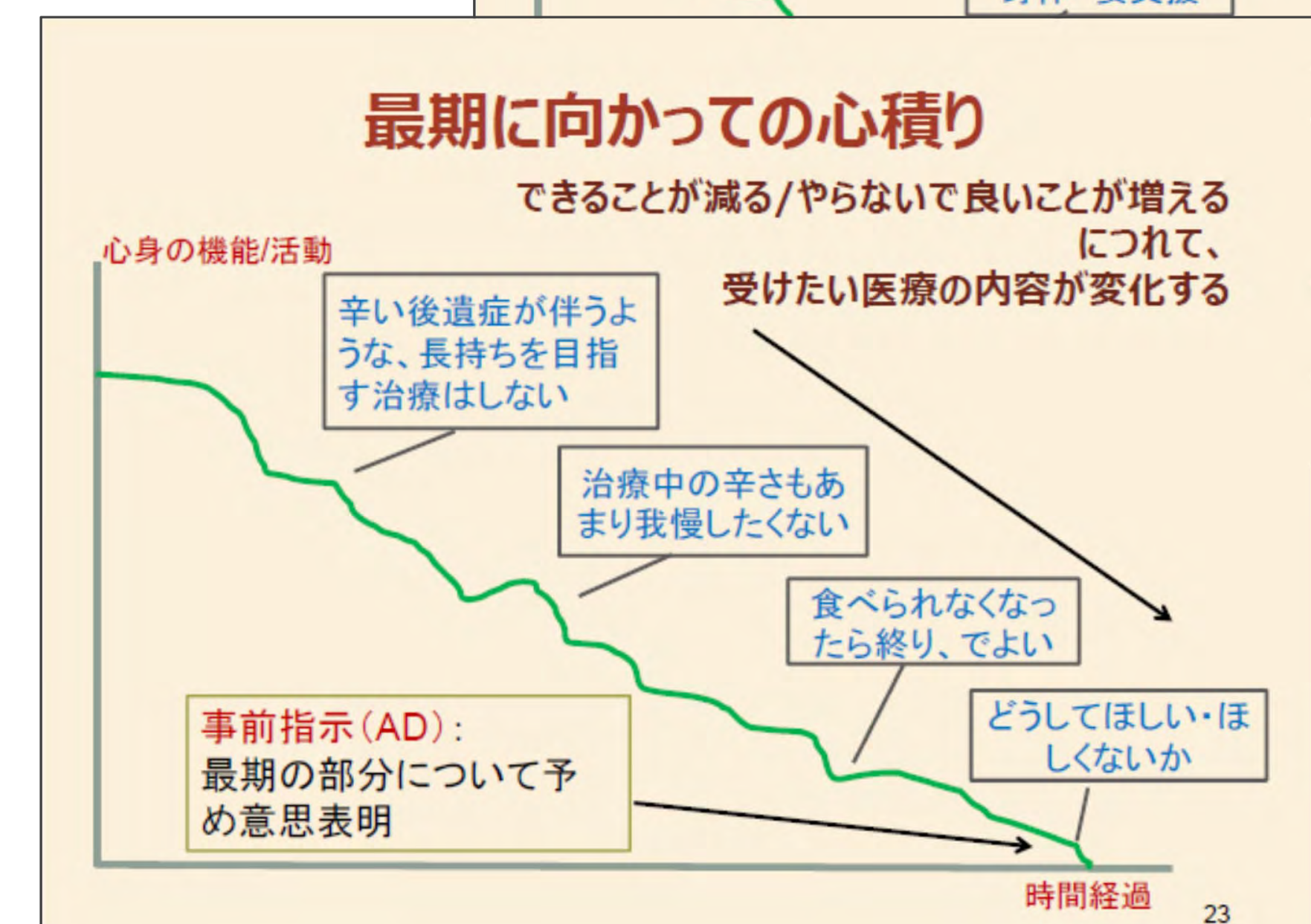
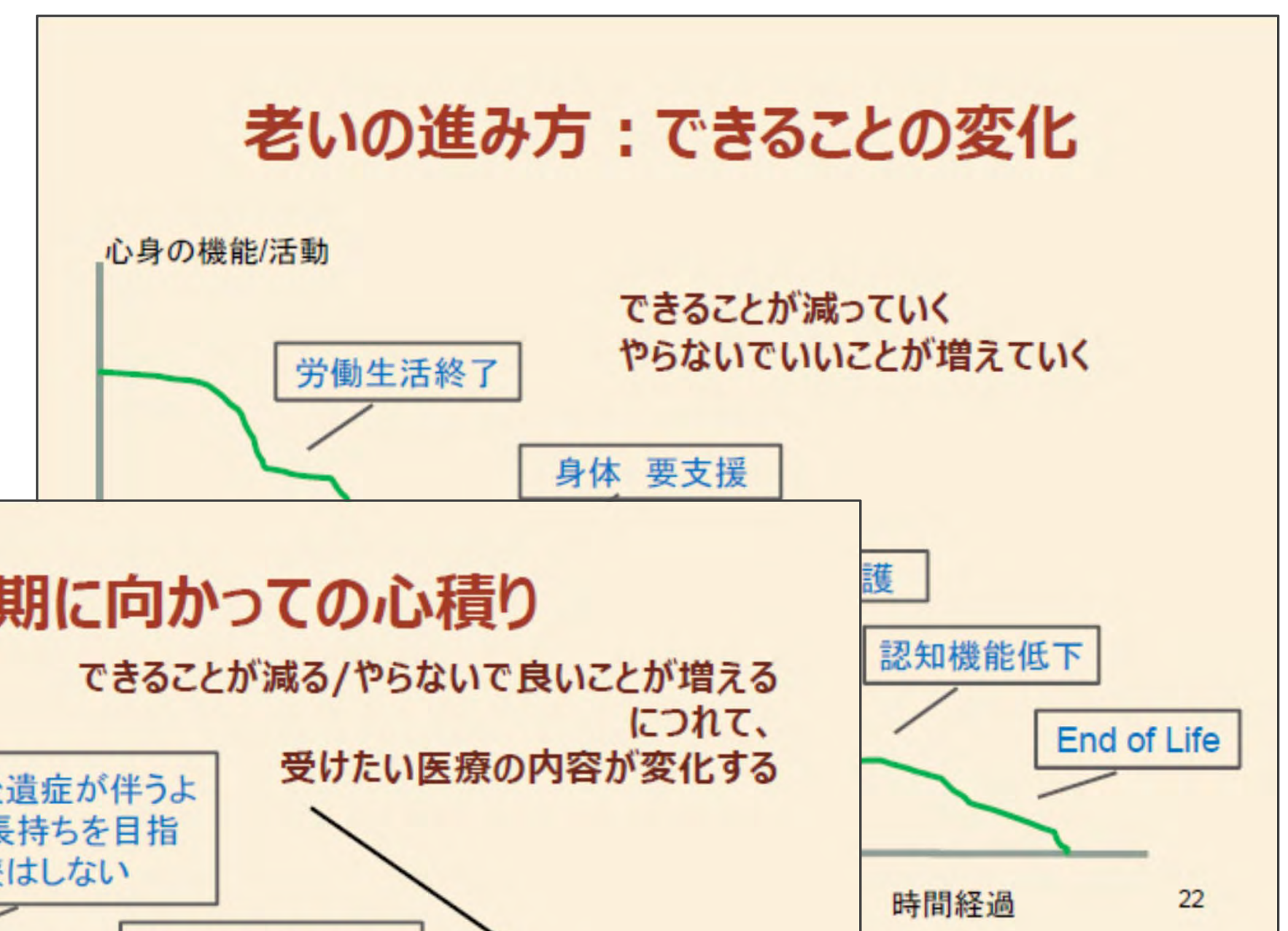
プロジェクトの成果(開発した社会技術)

1. 現在から最期までの〈心積り〉ノート
将来の暮らしと医療・ケアの選択について、今から考えておくことで、本人・家族の意思決定プロセスを支援するツール
2. 「上手に老い、最期まで自分らしく生きるため」には、どのように人生と生命を考えたらいいか：啓発活動 > 老活（おいかつ）
3. 心積りゲーム（筑波大学原田PJ「みんラボ」との共同開発）：
本人・家族を心積りへ誘うプロモーションゲーム



心積りノートが臨床現場・社会に提示できること

- 高齢者の人生にとっての最善を考える：
⇒ 生命だけに焦点を合わせると、害になることもある
⇒ 老いによる衰えが進むにつれ、最善の治療が変化する
- ACP（アドバンスケアプランニング）を、看取りの時期だけではなく、現在から最期までの長いプロセスを見渡して、考えておくことを支援する活動へと展開する
- 心積りを書くための本人と家族・ケア従事者との対話を促すと共に、新たな価値観を提示して、考えるように促す
 - ➔ 医療・介護従事者（相談員・ケアマネetc）が本人・家族と話し合う際の支援ツールになる
- 終活ではなく、**老活**（老いの季節を生き活きと一活動）健康寿命を延ばす ⇒ その先も併せ考えよう
 - ➔ 多死時代に備えて、医療・介護の受け方を考え直す



今後の治療・ケアの心積り



今後の展開・展望

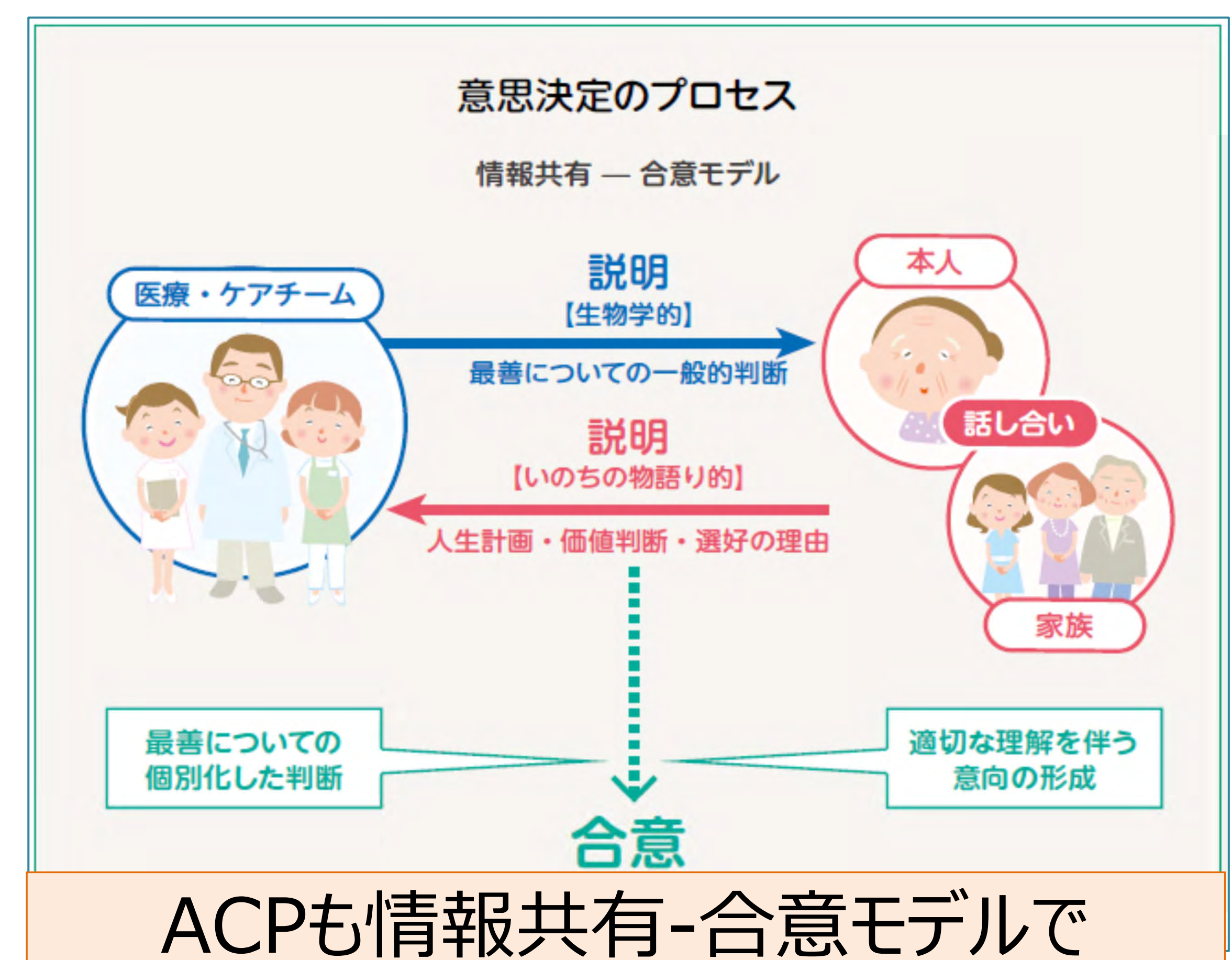
- ・心積りノートの用途別バージョン開発
- ・相談員研修 / 心積りファシリテーター養成
- ・解説書作成 / 老活促進活動

《心積りノート》を 使ってみてくださるグループ・プロジェクト募集！
下記問い合わせ先にご連絡ください

プロジェクトWebサイト・お問い合わせ先

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dls/cleth/pa/planningahead.html>

東京大学(院)人文社会系研究科
死生学・応用倫理センター 上廣講座
《心積りノート》プロジェクト planningahead.cep@gmail.com



ACPも情報共有-合意モデルで